

第1 令和元年度事業総括

小動物、産業動物、公衆衛生等各分野で働く本会会員が、自らの倫理の高揚と実践・普及及び獣医師の人材育成に努めることにより、動物に関する保健衛生の向上、動物愛護精神の涵養、安全安心な畜産食品の生産振興、人の公衆衛生の向上及び社会福祉の増進などを図って地域社会への貢献を目指して活動した。

以上の具体的な方策として、以下の活動を実施した。

1 獣医学術及び技術の振興・普及及び獣医師人材育成に関する事業

新たな獣医学術及び保健衛生の向上を図るため、獣医療や獣医学教育の推進を目的とし、会員獣医師が日常の診療、研究等で取得した技術及び知識を会員獣医師のみならず動物看護師、学生、一般市民を対象とした学会、研修会、講習会等を開催し、最新の獣医療の情報共有と人材育成を実施した。

また、島根県で開催された獣医学術中国地区学会、東京都で開催された日本獣医師会獣医学術学会年次大会の参加促進を促すなどの学術振興活動を行った。

2 人と動物が共生できる社会環境づくりに関する事業

人獣共通感染症である狂犬病の予防等のため、適切な指導を推進することで、動物に関する保健衛生及び人の公衆衛生の向上を図ることにより、人と動物が共生できる社会環境作りに取り組むための事業を実施した。

また、公益社団法人鳥取県畜産推進機構と連携協調を密にして指定獣医師による予防注射業務の円滑な推進に協力及び公益財団法人動物臨床医学研究所との連携により愛護動物の福祉・環境改善の高揚などを図った。

3 飼養動物等に関する知識・技術の普及啓発及び猫の不妊・去勢手術等の助成に関する事業

飼養動物等（愛玩動物、家畜、野生動物等）の習性や飼養管理、病気等に関する情報を提供するとともに、不妊・去勢手術の必要性の啓発活動を実施した。さらに、県から譲り受けた猫の不妊・去勢手術奨励事業を実施するとともに、県事業を活用し猫の不妊・去勢手術を助成し、もって動物愛護精神の高揚を図り、人と動物が共生する地域社会の発展を図るための事業を実施した。

さらに、動物の愛護及び管理に関する法律に基づく所有明示措置を推進するため、マイクロチップの装着の普及を図った。

4 獣医事の推進

中国地区の各獣医師会と連携し、①マイクロチップ装着の義務化に向けた早期検討②「獣医療法」の適正化のための監視指導に関する指針の見直し③「動物の愛護及び管理に関する法律」における獣医師の位置づけの改正、④獣医師養成確保修学資金貸与事業の広範活用について、日本獣医師会を通じて国に継続要望した。

また、地元鳥取大学農学部共同獣医学科を優秀な成績で卒業する学生を表彰するなど各種の活動を行った。

5 広報活動事業

(1) 日本獣医師会雑誌を正会員に配布し、獣医学術及び会員情報等を伝達した。

(2) 鳥取県獣医師会会報を毎月発行（第531号～第542号）全会員に配布し、本会業務の伝達、各種情報の提供を行った。

(3) ホームページを充実し広く本会のPRに努めるとともに、会員コーナーで情報提供に努めた。

第2 事務概況

1. 行事

- (1) 監査会
 31. 4. 19 平成30年度監査会（於 本会事務所）
 平成30年度における会計及び業務監査
- (2) 総会
 元. 5. 26 第67回定時総会（於 米子市：米子ワシントンホテルプラザ）
 平成30年度事業報告、収支決算、役員改選
- (3) 臨時総会
 2. 3. 29 令和元年度臨時総会（於 倉吉市：倉吉体育文化会館）
 令和元年度補正予算（案）、
 令和2年度事業計画（案）、予算書(案)、会費の賦課納入、
 一時借入金限度額及び取引金融機関
- (4) 理事会
 31. 4. 25 第183回理事会（於 湯梨浜町：水明荘）
 第67回定期総会招集
 第67回定時総会提出議案、功労者表彰、理事の定数について
- 元. 5. 26 第184回理事会（於 米子市：米子ワシントンホテルプラザ）
 会長・執行理事の選任
- 元. 7. 17 第185回理事会（於 湯梨浜町：水明荘）
 日本獣医師会会長・中国地区連合会長の表彰者の推薦
 臨時総会のあり方、幹旋事業の整理
2. 3. 5 第186回理事会（於 湯梨浜町：水明荘）
 定款変更、役員の補欠選任、臨時総会の招集、臨時総会提出議案
2. 3. 29 第187回理事会（於 倉吉市：倉吉体育文化会館）
 専務理事の選任
- (5) 小動物・狂犬病委員合同会議
 元. 12. 19 小動物臨床部会委員・狂犬病委員合同会議（於 湯梨浜町：水明荘）
 狂犬病予防注射済証の変更、狂犬病予防注射見合わせ証の改善、狂犬病
 予防注射の注意喚起ポスターの作成、小動物臨床部会委員の改選
- (6) 自衛防疫委員会
 元. 10. 9 第1回自衛防疫委員会（於 湯梨浜町：水明荘）
 大動物臨床に係わる会員の県外研修、産業動物関係者研修会
- (7) 鳥取県農業共済組合関係
 2. 3. 11 於 鳥取市：損害評価会家畜共済部会
- (8) 日本獣医師会関係
 元. 6. 25 於 東京都：日本獣医師会通常総会
 元. 7. 12 於 東京都：全国獣医師会事務・事業推進会議
 元. 10. 4 於 東京都：全国獣医師会会長会議
 元. 10. 5 於 東京都：2019動物感謝デー
- (9) 中国地区獣医師会連合会関係
 31. 4. 11 於 米子市：平成31年度定期総会
 元. 6. 13 於 松江市：中国地区獣医師会連合会事務局会議
 元. 6. 13 於 松江市：中国地区獣医師会連合会幹事会
 元. 10. 18 於 松江市：中国地区獣医師会会長会議・事務局会議
 元. 10. 19 於 松江市：令和元年度獣医学術中国地区学会

- 元. 10. 20 於 松江市：令和元年度中国地区開業部会連絡協議会定期会議
- 2. 1. 25 於 米子市：令和元年度中国地区公衆衛生講習会
- 2. 2. 1 於 広島市：令和元年度中国地区産業動物臨床講習会
- 2. 2. 2 於 山口市：令和元年度中国地区小動物講習会

(10) そ の 他

県健康医療局健康政策課、県くらしの安心局くらしの安心推進課、県農業振興戦略監畜産課、鳥取県農業共済組合、大山乳業農業協同組合、(公社)鳥取県畜産推進機構、(公財)鳥取県食鳥肉衛生協会、(公財)動物臨床医学研究所、鳥取県公衆衛生協会、鳥取県公衆衛生獣医師協議会、鳥取県感染症協議会、鳥取県食中毒防止対策協議会、中国しゃくなげ会等関係機関との連携を図り、会議等に参画した。

2. 会員の動向

(1) 顧問 福田 豊 氏、山根 義久 氏

(2) 正会員 284名

支部	31年度初 現在数	支 部 間 異 動		入 会	退 会	元年度末 現在数
		入	出			
東 部	98	羽田 智栄 郡司 美緒 河野 伸嗣 山崎 浩一	小西 博敏 大石美智子 織奥 学 田淵 一郎 中村 歩 砂田 嘉秋	高木 翔矢 河口 昂司 天羽 隆男 井口 愛子 天野 竜馬	福田 一雄 近藤 寿代	99
中 部	96	大石美智子 森本 一隆 田淵 一郎 中村 歩 山崎 健太 小笠原剛士 砂田 嘉秋 田中 啓子	池本千恵美 下岸 照和 羽田 智栄 岡本 聡子 郡司 美緒 長 千恵 増田 恒幸 湯村 優子 早志 敬治 河野 伸嗣 村上 千里 河合 紀人	森谷 玲子 小熊 尚子	黒田 萌黄 杉谷 龍紀 大平登志子	91
西 部	90	小西 博敏 池本千恵美 下岸 照和 織奥 学 岡本 聡子 長 千恵 増田 恒幸 湯村 優子 早志 敬治 村上 千里 河合 紀人	森本 一隆 山崎 健太 小笠原剛士 山崎 浩一 田中 啓子	佐野 博子	福留 俊博 長谷川なぎさ 小峯 範公	94
	284	23	23	8	8	284

(3) 特別会員

終身会員 白間 実、安田 公正、那須 和四郎、福井 忠義、木嶋 朗博
(17名) 山根 礼吉、三田 早苗、長谷川 重美、生田 常雄、金田 耕治
前場 武弘、長尾 利彦、岸本 靖、山根 徳久

名誉会員 岸本 務、福田 眞章、中森 悦夫、竹本 巖、田村 知央、田村 儀一
(8名) 太田 勝巳、河本 修治

(4) 賛助会員

(公社)鳥取県畜産推進機構、鳥取県農業共済組合、大山乳業農業協同組合、
米久おいしい鶏(株)、(公財)鳥取県食鳥肉衛生協会

(5) 会員逝去

(終身会員)坂口 正博、衣川 誠、福井 徳磨

第3 事業概況

1. 学術振興

(1) 学会

- 第53回鳥取県獣医学会
元. 7. 28 於 鳥取市：鳥取県立福祉人材研修センター
発表題数 26題 出席者81名
産業動物 9題 公衆衛生 4題 小動物 13題

- 令和元年度獣医学術中国地区学会
元. 10. 19～20 於 松江市：松江テルサ
発表題数 126題
日本産業動物獣医学会 37題（鳥取県：5題）
日本小動物獣医学会 47題（鳥取県：6題）
日本獣医公衆衛生学会 28題（鳥取県：2題）

- 第40回動物臨床医学会年次大会（公益財団法人 動物臨床医学研究所主催）
元. 11. 15～17 於 大阪市：グランキューブ大阪（大阪国際会議場）

- 令和元年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会
2. 2. 7～9 於 東京都：東京国際フォーラム

(2) 講習会・研修会

- ワンヘルス講演会
31. 4. 14 於 米子市：米子コンベンションセンター
講習内容：ヒトのSFTSなどのダニ媒介性の感染症について
講師：鳥取大学医学部付属病院 感染制御部 教授 千酌 浩樹 先生
講習内容：動物における重症熱性血小板減少症候群
講師：国立感染症研究所 獣医科学部 部長 前田 健 先生

- 畜産部会研修会
元. 6. 26 於 倉吉市：倉吉シティホテル
話題提供
内容：「県内で発生したIBについて」 倉吉家畜保健衛生所 黒田 萌黄 先生
「管内で検出IBDワクチン変異株とそのコントロールについて」
倉吉家畜保健衛生所 長 千恵 先生
講演
内容：フィールドにおけるIB、IBDの実情と対策
講師：MSDアニマルヘルス株式会社 高田 健次 先生

- 小動物講習会・セミナー
元. 7. 3 於 鳥取市：ぎんりん
令和元年度鳥取県東部開業獣医師勉強会
（講師）（株）V a n d P 津田佳男 先生
（講演）「抗炎症脂質アンチノールについて」

- 女性獣医師交流会
元. 9. 28 於 鳥取市：みんなの牧場
内容：鳥取県獣医師会女性のつどい2019 in みんなの牧場
講師：株式会社 みんなの牧場 岡本 郁久 社長

- 西部支部研修会（公開講座）
元. 11. 24 於 米子市：米子コンベンションセンター
講習内容：働き方改革のポイント～その残業、しますか？させますか？～
講師：働き方改革サポートオフィス鳥取 社会保険労務士 服部 昭 先生

講習内容：キャッシュレスの動向とスマホ決済について

講師：PayPay（株）中国四国ブロック拠点長 梅谷 守 先生

○ 産業動物関係者研修会

元. 12. 12 於 倉吉市：倉吉体育文化会館

講習内容：牛のヘルニア―基礎と臨床

講師：鳥取大学農学部共同獣医学科 獣医外科学／神経病腫瘍学

教授 岡本 芳晴 先生

講習内容：CSF（豚コレラ）の対応状況と指針改正について

講師：鳥取家畜保健衛生所 所長 青菘 芳幸 先生

○ 中部支部研修会（公開講座）

2. 1. 22 於 倉吉市：倉吉シティホテル

講習内容：北海道の大規模酪農における牛群管理と注意点

講師：（株）ゆうべつ牛群管理サービス 酪農コンサルタント 山川和宏 先生

2. 狂犬病予防注射頭数（H31. 3～R2. 2） 17, 771頭

（ ）は前年同期

地区	集合注射頭数	個人注射頭数	頭数合計
東 部	1, 920 (2, 201)	4, 759 (4, 661)	6, 679 (6, 862)
中 部	1, 030 (1, 172)	2, 272 (2, 211)	3, 302 (3, 383)
西 部	1, 624 (1, 802)	6, 166 (5, 962)	7, 790 (7, 764)
計	4, 574 (5, 175)	13, 197 (12, 834)	17, 771 (18, 009)

3. 動物愛護事業

○ 飼い猫の不妊、去勢手術奨励事業（県事業を活用）

実施頭数：不妊319頭（1頭当たり4,000円助成）（前年度：267頭）

去勢245頭（1頭当たり2,000円助成）（前年度：202頭）

合計564頭（前年度：469頭）

○マイクロチップ装着推進

代行登録頭数： 222頭（前年度：174頭）

○食のみやこ鳥取フェスタ及び防災フェスタ、譲渡会での無料相談コーナー設置

元. 7. 15 於 米子市：犬と猫の譲渡会 担当：座波 秀彰 先生

元. 10. 20 於 米子市：食のみやこ鳥取県「せいぶの農と食まつり」

担当：木嶋 友洋 先生、高森 圭子 先生

元. 11. 10 於 米子市：犬と猫の譲渡会 担当：赤井 潤 先生

元. 11. 17 於 倉吉市：防災フェスタ 担当：井上 純子 先生

○人と動物の未来センター ”アミティエ”への後援

元. 9. 22 於 倉吉市：アミティエ6周年動物愛護フェスティバル

4. 表彰

(1) 第67回 通常総会（令和元. 5. 26 於 米子市）において会長表彰

森川 伸昭 氏、森 利之 氏、坂井 尚子 氏、池本 千恵美 氏、田中 久美子 氏

(2) 令和元年度獣医学術中国地区学会（令和元. 10. 19 於 松江市）において表彰

日本獣医師会会長表彰

山本 豊巖 氏
中国地区獣医師会連合会会長表彰
松本 康右 氏、横川 啓一郎 氏、岸本 昌久 氏、森 徹士 氏

5. 公務員獣医師確保と処遇改善の取り組み

2. 1. 20 鳥取県議会議員との意見交換会 於 鳥取市

内 容：超党派議員で構成される鳥取県の畜産業の発展を考える会との意見交換会において、「公務員獣医師確保対策について」意見交換し対策の実現に向けて応援を依頼

6. 要請活動

(1) 中国地区獣医師会連合会を通じて、(公社) 日本獣医師会に次の各号について要請した。

- ①「動物の愛護及び管理に関する法律」における獣医師の位置づけの改正について(継続)
- ②獣医師養成確保修学資金貸与事業の広範活用について(継続)
- ③「獣医療法」第17条(広告の制限)及びその適正化のための監視指導に関する指針(獣医療法広告ガイドライン)の見直しについて(継続)
- ④マイクロチップ装着の義務化に向けた早期検討について(新規)

(2) 国の農業共済制度(家畜共済)の見直しに際して、鳥取県農業共済組合に対して「家畜診療点数表の詳細な改正内容について、早期の掲示を国に働きかけるとともに、説明会を開催し早期に周知すること」を要望した。

7. 奨 励

(公社) 日本獣医師会、中国地区獣医師会連合会が主催する行事等の参加奨励を行なった。

8. 協 賛

鳥取県畜産共進会、(公社) 日本犬保存会鳥取支部展覧会、動物臨床医学会年次大会、動物慰霊祭(鳥取大学)

9. 福 祉 事 業

獣医師福祉共済制度の推進
生命共済 医療保障保険 賠償責任保険

10. 慶 弔

慶 事 7 件(会員8名) 弔 慰 16 件(会員18名)